

前 文

1 山口県中部地方拠点都市地域の整備の基本理念

近年、我が国では、地方において若年層を中心とした人口減少が広がるなど地方全体の活力低下がみられる一方、依然として、人口や様々な都市機能が東京圏へ集中する傾向が続いており、地方の自立的成長を促進し、国土の均衡ある発展を実現していくことが喫緊の課題となっている。

中小都市が散在する分散型都市分布構造を呈する山口県においても、人口や高次都市機能が相当程度集積した中核都市がないことなどから、多様で魅力ある就業の場や質の高い都市的サービスや遊びの場を提供してくれる都市型産業の立地が十分進まず、人口流出による地域の活力の低下が懸念されている。

このため、地理的に県の中央部に位置し、地域の拠点形成の波及効果が全県に及びやすい地域である本地域に、地方定住の核となる地方拠点都市地域を形成することが必要となっている。

本計画は、自然的経済的社会的条件からみて強い一体性を有し、既に国土保全基盤や生活基盤、高速交通・通信体系を形成する施設、高次の教育・文化医療施設等が相当整備されている2市2町の特徴を生かしつつ、高次都市機能の集積した拠点地区を整備するとともに、快適な住環境を提供することにより、県勢の発展を主導する『にぎわいとゆとりを備えたハイクオリティシティの実現』を目指して策定するものである。

2 地方拠点都市地域の概要

(1) 地方拠点都市地域の名称

山口県中部地方拠点都市地域

(2) 中心都市名

山 口 市

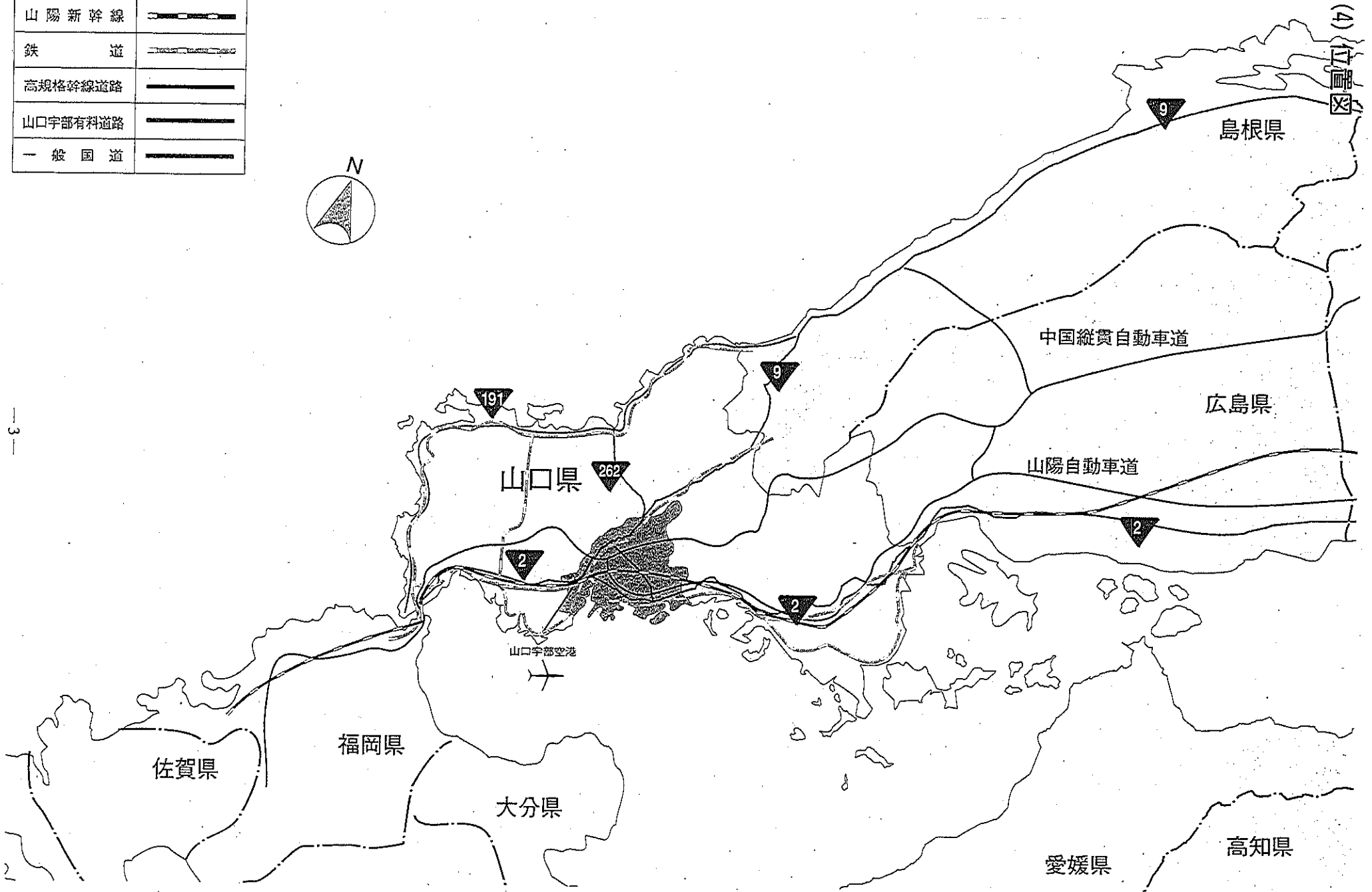
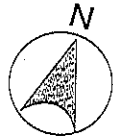
(3) 地方拠点都市地域の構成

本地域は、中心都市である山口市・これに準じた防府市・小郡町及び秋穂町の2市2町から構成される。

市町名	人 口 (人) (平成2年)	人口増減率(%) (昭和60年~平成年)	面 積 (km ²) (平成2年)
山口市	1 2 9 , 4 6 1	4 . 2	3 5 6 . 9 0
防府市	1 1 7 , 6 3 4	△ 0 . 4	1 8 8 . 5 1
小郡町	2 1 , 7 7 2	8 . 2	3 3 . 4 0
秋穂町	8 , 4 8 1	△ 5 . 7	2 4 . 0 4
4 市町 (2市2町)	2 7 7 , 3 4 8	2 . 2	6 0 2 . 8 5

資料) 人口は、平成2年国勢調査報告(増減率は、昭和60年との比較)
面積は、平成2年全国都道府県市区町村別面積調

凡 例	
山陽新幹線	
鉄 道	
高規格幹線道路	
山口宇部有料道路	
一 般 国 道	



(5) 圏域図

